

緩和ケア通信

第14回緩和ケア学会に参加しました！！

学会は6/19～20の2日間大阪にて開催されました。新型インフルエンザの影響が心配されましたが、今回より参加していただいた耳鼻科の先生を含めて、医師3人、薬剤師1人、看護師6人が当院より参加しました。学会全体では5,000人を超える、大きな学会となってきました。当委員会からも演題発表を2年続けて行っていますが、演題採択率も本年は56%となってきました。また、学会構成員は今年4月に施行されて、緩和ケアを向上させる行動計画が策定され、特に癌拠点病院の緩和ケアの充実が義務付けられました。このためもありこの学会は会員が急増してきています。

当院の緩和ケアチームが発足して3年になり、電子カルテ導入後で関与した症例が100例を超えていますが、問題点も多くあり特に地域の連携に関しては今後の課題となっています。今回の当院の演題は、この点を踏まえて昨年の12月に看護ステーション、老健施設、調剤薬局へのアンケートを実施してその結果を発表しました。病院との連携が足りない認識は共通しており、地域の協議会を開催して対応していく予定でいます。

“**帰りたい 願いかなえる 緩和ケア**”を目標として、体制をつくらなければならないと考えています。今後ともご協力をお願いいたします。

(緩和ケア委員会委員長 坂井)

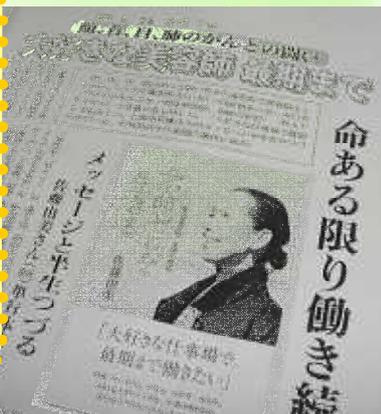
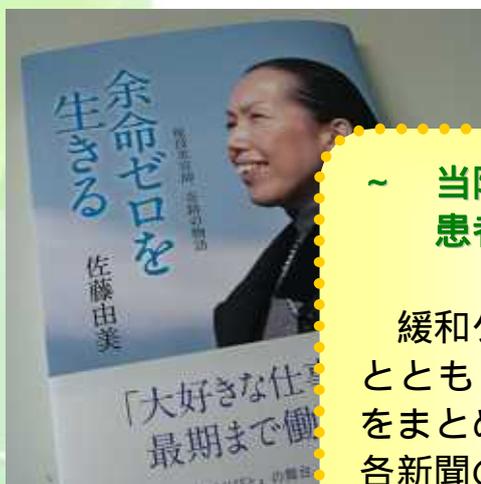
坂井先生が発表しました



この緩和ケア川柳は・・・
薬剤師 阿部美佐緒さん作
柏木哲夫先生 監修です

～ 当院の緩和ケア外来に通う患者さんが本を出版しました ～

緩和ケア外来に通う患者さんが、がんとともに生きながら仕事を続ける日々をまとめ、本を出版しました。これは、各新聞の一面でも取り上げられました。



緩和ケアの申し込みかお問い合わせは
お近くの緩和ケアリンクナースか地域医療室(内線:2711)